



# 株式会社UKCホールディングス 2012年(平成24年)3月期 第1四半期決算説明資料

---

2011年8月10日



株式会社 UKCホールディングス

---





# 目次

## 2012年3月期 第1四半期決算（連結）概況

事業セグメント	4
2012年3月期 第1四半期 ハイライト	5
2012年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業	6
2012年3月期 第1四半期 電子機器事業	7
2012年3月期 第1四半期 システム機器事業	8
2012年3月期 第1四半期 財政状態（バランスシート）	9
2012年3月期 第1四半期 財政状態（キャッシュ・フロー）	10

## 2012年3月期 第2四半期累計連結業績予想修正

2012年3月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想修正	12
------------------------------	----

## トピックス

震災の影響	14
LED照明事業の拡充	15
LED関連事業紹介	16
統合進捗	17





---

# 2012年3月期 第1四半期決算(連結)概況



# 事業セグメント



事業部門（セグメント）		主要製品
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、その他半導体
	電子部品	液晶パネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF※、基板、タッチパネル、複合部品、その他一般電子部品
	EMS	電子機器受託製造サービス(Electronic Manufacturing Service)
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、ビデオプリンター、音響映像関連機器
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード (FeliCa) R/Wモジュール、リモコン電子キーシステム、医療用監視システム、セキュリティシステム
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film) :

中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料



# 2012年3月期 第1四半期 ハイライト



(単位：百万円)	2011年3月期 第1 Q		2012年3月期 第1 Q		前年同期比		第1 Q進捗率	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	2 Q累計予想 (5/13公表)	進捗率
売上高	71,985	100.0%	72,718	100.0%	+733	+1.0%	126,000	57.7%
売上総利益	4,070	5.7%	3,891	5.4%	▲178	▲4.4%	6,950	56.0%
SGA	2,928	4.1%	2,889	4.0%	▲39	▲1.3%	5,750	50.2%
営業利益	1,141	1.6%	1,002	1.4%	▲139	▲12.2%	1,200	83.5%
経常利益	1,085	1.5%	917	1.3%	▲168	▲15.5%	1,000	91.7%
四半期純利益	611	0.8%	615	0.8%	+4	+0.7%	600	102.5%

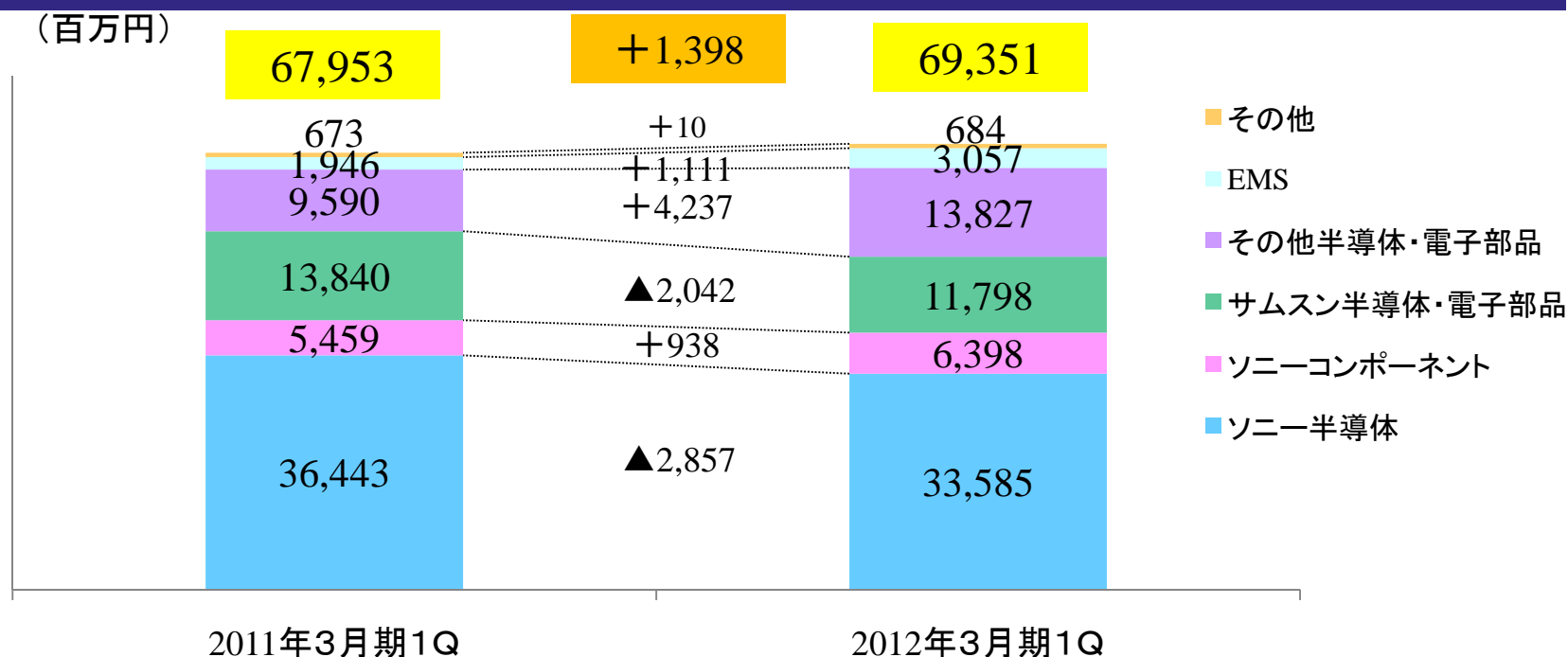
- 5月13日公表の第2四半期(累計)業績予想に対して、第1四半期業績は総じて好調に推移
- 震災の影響で主力のソニー製半導体や機器事業の売上高は前年比で減少も、スマートフォン向け液晶パネル・タッチパネル等の売上拡大やEMS事業を営む子会社東莞新優電子有限公司が当期より連結対象となったことによる純増等で全体の売上高は前年比で増加
- 売上総利益率の高い電子機器事業の売上減により、売上総利益、営業利益、経常利益ともに減少。四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより、前年比微増



# 2012年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業



(百万円)



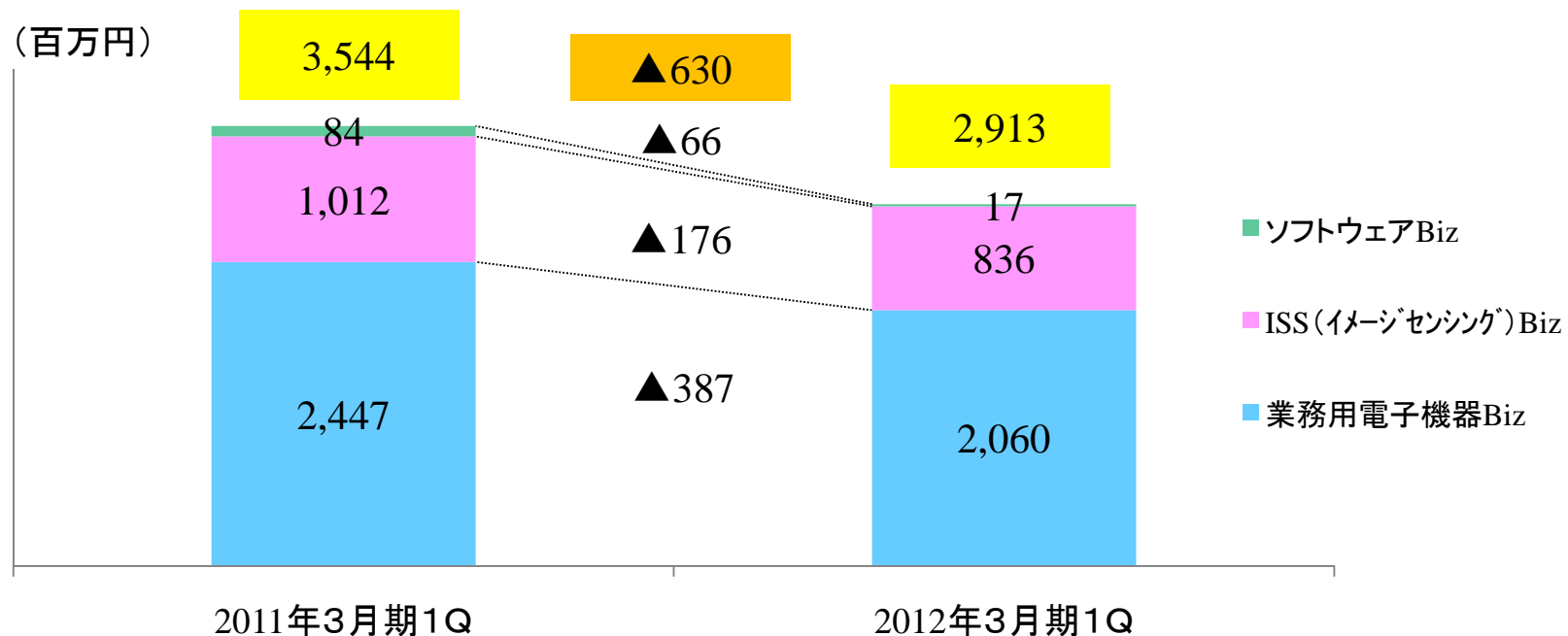
セグメント利益(百万円)

1,686

1,581

- ソニー半導体は、震災による部材不足・工場被災や顧客の生産数減少により、イメージセンサーやLDが減少。ソニーコンポーネントはACF需要により増加
- サムスン半導体、電子部品：液晶パネル(TV向け)は、エコポイント効果がなくなり減少。7月に丸文セミコンへ事業譲渡
- その他半導体・電子部品：スマートフォン向け液晶パネル、タッチパネルが好調に推移。サムスンLED社製LED照明ビジネスも貢献

# 2012年3月期 第1四半期 電子機器事業



セグメント利益(百万円)

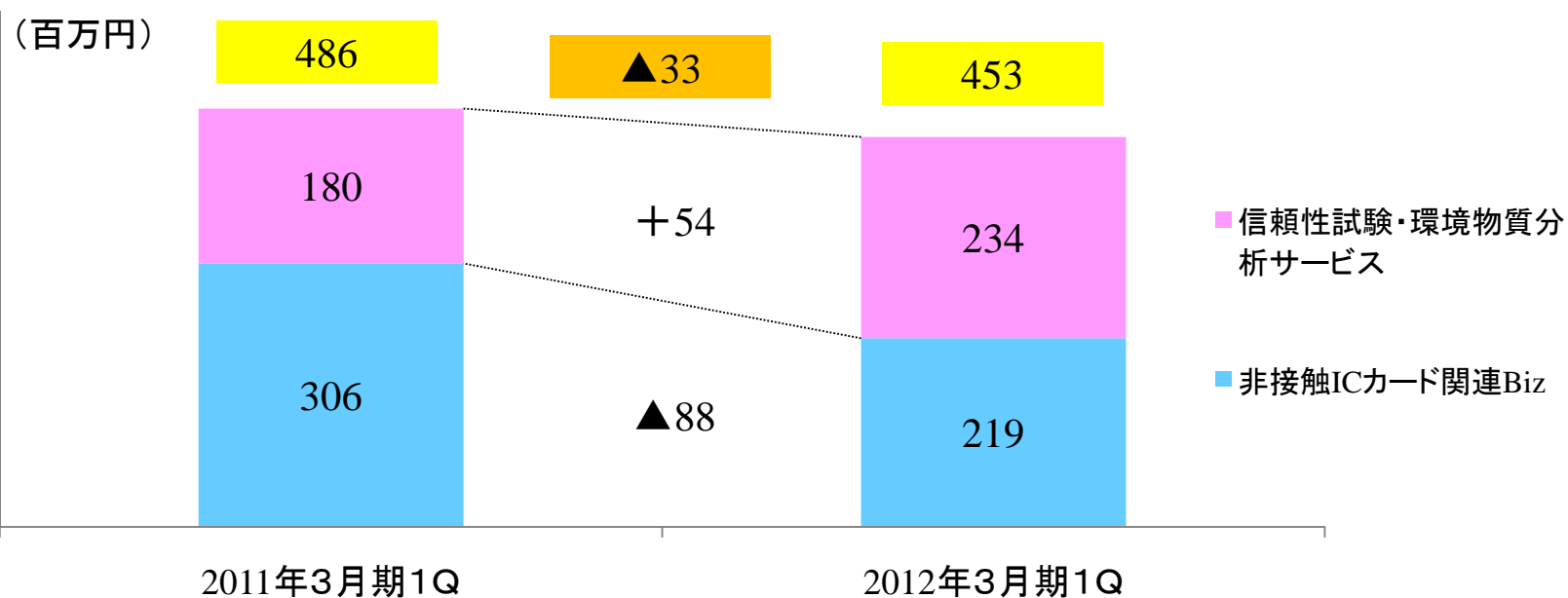
▲99

▲192

- 業務用電子機器ビジネスは、震災による放送用テープメディア等の供給不足、及び顧客の設備投資予算の凍結や案件の延伸等により低調に推移
- イメージセンシングビジネスも、震災による供給減により売上減少



# 2012年3月期 第1四半期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

▲19

48

## ▶ 非接触ICカード関連ビジネス

パソコン市場では低価格帯へのシフトに伴い、FeliCaモジュール搭載は減少  
自社開発製品も震災による顧客の投資案件延伸で減少

## ▶ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス

試験数、新規案件が増加し、業績は好調に推移





# 2012年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)

(単位：百万円)		11/6月末	11/3月末
現預金		13,221	14,753
売上債権		74,844	69,763
棚卸資産		21,395	19,865
その他		3,891	4,280
<b>流動資産計</b>		<b>113,352</b>	<b>108,661</b>
<b>固定資産計</b>		<b>5,032</b>	<b>5,250</b>
<b>総資産</b>		<b>118,385</b>	<b>113,912</b>

仕入債務		45,321	46,484
短期借入金 ※		25,407	19,251
その他		3,141	3,360
<b>流動負債計</b>		<b>73,869</b>	<b>69,097</b>
長期借入金		4,954	4,515
その他		1,399	1,604
<b>固定負債計</b>		<b>6,354</b>	<b>6,120</b>
<b>純資産</b>		<b>38,161</b>	<b>38,694</b>

<b>自己資本比率</b>	<b>31.6%</b>	<b>33.0%</b>
---------------	--------------	--------------

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

## ➤ 総資産

主に売上債権増(5,080百万円)及び棚卸資産増(1,530百万円)に対し、現預金の減少(1,531百万円)により、前期末と比較して4,472百万円増加

## ➤ 負債

主に運転資金増に伴う短期・長期借入金増(6,594百万円)に対し、仕入債務減(1,163百万円)により、前期末と比較して5,005百万円増加

## ➤ 純資産

主に、四半期純利益615百万円の計上に対し、利益剰余金からの配当561百万円(少数株主への支払含む)、その他の包括利益の変動額199百万円、少数株主持分の変動額399百万円により、前期末と比較して532百万円減少

# 2012年3月期 第1四半期 財政状態(キャッシュ・フロー)

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ▲7,633百万円

主に、税金等調整前当期純利益(922百万円)による資金の増加に対し、売上債権の増加(5,031百万円)、たな卸資産の増加(1,641百万円)、仕入債務の減少(1,542百万円)により資金が減少したことによる

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー 70百万円

主に、定期預金の払戻しによる収入(600百万円)、投資有価証券の売却による収入(175百万円)による資金の増加に対し、定期預金の預入による支出(330百万円)、子会社株式の取得による支出(280百万円)、有形固定資産の取得による支出(101百万円)により資金が減少したことによる

## ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー 6,220百万円

主に、運転資金のための短期借入金の増加(7,095百万円)による資金の増加に対し、配当金の支払額(少数株主への支払も含めて561百万円)、長期借入金の純減(286百万円)により資金が減少したことによる

## ■ 現金及び現金同等物 12,391百万円



---

# 2012年3月期 第2四半期累計連結業績予想修正



# 2012年3月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想修正

(単位：百万円)	2011年3月期実績① (第2四半期累計)		12年3月期<予想>② (第2四半期累計) 2011/5/13公表		12年3月期<修正>③ (第2四半期累計) 2011/8/10公表		前年同期比 ③/①	予想比 ③/②	12年3月期<予想> (通期) 2011/5/13公表	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減率	増減率	金額	構成
売上高	148,252	100.0%	126,000	100.0%	135,000	100.0%	▲8.9%	+7.1%	270,000	100.0%
売上総利益	8,365	5.6%	6,950	5.5%	7,450	5.5%	▲10.9%	+7.2%	15,000	5.6%
SGA	5,980	4.0%	5,750	4.6%	5,750	4.3%	▲3.9%	+0.0%	11,400	4.2%
営業利益	2,384	1.6%	1,200	1.0%	1,700	1.3%	▲28.7%	+41.7%	3,600	1.3%
経常利益	2,056	1.4%	1,000	0.8%	1,400	1.0%	▲31.9%	+40.0%	3,300	1.2%
四半期純利益	1,135	0.8%	600	0.5%	600	0.4%	▲47.1%	+0.0%	2,000	0.7%

- 1Qは震災の影響を考慮した期初の業績見込みを上回る進捗率で推移  
今後も高級デジタルスチルカメラやスマートフォン向け電子部品の堅調な需要が  
予想されるため、第2四半期連結累計期間連結業績予想を修正
  - ・ 経常利益には、昨今の円高傾向を保守的に織り込み
  - ・ 事業会社統合に伴う費用の発生が見込まれるものの、現状では正確な見積もりが  
出来ないため、四半期純利益は5/13公表値のまま据え置き
- 通期業績予想については、現在下期の経営環境を精査中のため、現段階では5/13  
公表値のまま据え置く
- 期末配当金予想：1株あたり35円



# トピックス



# トピックス①：震災の影響

サプライチェーンも急速に復旧し、現段階では、一部の部品・製品に供給不足はあるものの、主力のイメージセンサーを含め、当社グループへの影響はほぼ解消

## ■ 半導体・電子部品事業

- ・ ソニーイメージセンサーの生産用部材の調達難：調達難の部材も他社代替品等で代用、顧客からの要求数量にほぼ対応。現在は安定供給状態
- ・ ルネサスエレクトロニクス等の工場被災の影響：他社製品の代替等により大きな影響はなし
- ・ ソニーLD, ACF：ソニー工場の被災により一時需給が逼迫するも、大きな影響はなし。現在は100%稼働
- ・ ソニーバッテリー：ソニー工場の被災により供給ストップ。8月末には完全稼働予定
- ・ 震災で遅延していた顧客のセット生産も2Q以降に順調に回復

## ■ 電子機器事業

- ・ ソニー業務用機器：現在も供給体制は完全には回復しておらず、納期遅れ気味
- ・ 放送用テープ：ソニー工場被災で生産停止。8月末から出荷再開予定
- ・ ISS：生産部材の調達難(ルネサスエレクトロニクス等の工場被災の影響)により、1Qは数量不足。現在は調達難も解消、2Q以降は影響なし
- ・ 企業の設備投資減少により、工事案件が延伸

# トピックス②：LED照明事業の拡充

## 【サムスン製LED照明取扱いによる環境関連事業の拡充】

当社グループは、Samsung LED Co., Ltd.（以下、サムスンLED社という）及び日本サムスン株式会社のビジネスパートナーとして、LED照明事業の拡大に努めてまいります。

- 東日本大震災以降、節電意識の高まりで、LED照明関連市場は急速に拡大
- 国内各地の電設工事会社と提携し、大手コンビニエンスストア、店舗、オフィス等へ直管型LED照明の設置納入を開始
- エネルギー・環境関連事業をソニー製や海外製の半導体・電子部品販売事業に続く柱として育成
- **2011年度売上見込み：約30億円**

### サムスンLED社について

設立：2009年4月（三星電子株式会社、三星電機株式会社の共同出資により設立）

本社：韓国京畿道水原市

工場・販売拠点：韓国京畿道龍仁市、中国天津市に生産工場。欧米、アジア地区に販売拠点を展開

事業概要：テレビ・ディスプレイ、車載、各種照明等の幅広い用途に向けて、素材からシステムまでトータルソリューションを提供



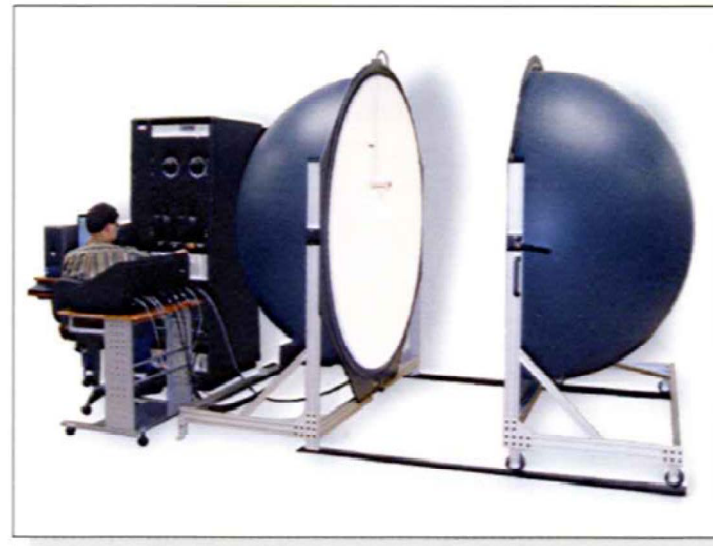
# トピックス③：LED関連事業紹介



## 【厚木Q I センターにLED光源測定システム導入】

信頼性試験、環境物質分析受託業務を営む(株)ユーエスシーのテストサービス事業部門では、急速に普及が進んでいるLED光源（電球形、蛍光管形）を含めた各種光源の性能や省エネルギー性能の測定を行うための新たなシステムを2011年8月に導入します。

新測定システムの導入により、注力分野の一つである環境関連ビジネスの一層の拡大を目指してまいります。



<全光束※ 測定システム>

※ 全光束：光源から全ての方向に発される光束のことで、照明器具の明るさの尺度として使用される。単位 lm（ルーメン）

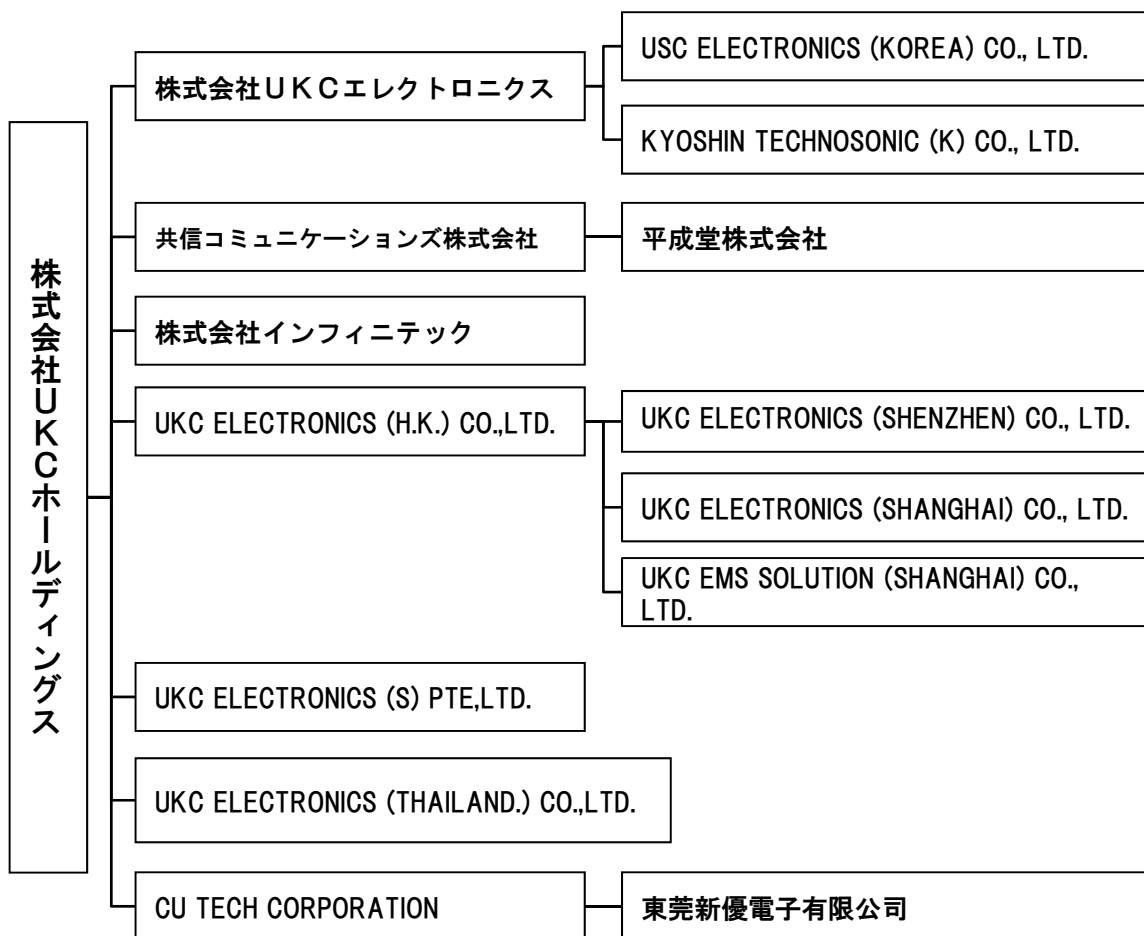




# トピックス④：統合進捗



<2011年10月1日>



2011/7月

- ・ ユニーデバイス(サムスン電子製半導体・電子部品事業)を事業譲渡

2011/8月

- ・ 深圳拠点統合  
⇒UKC ELECTRONICS (SHENZHEN)
- ・ 上海地域の部品事業を集約・統合  
⇒UKC ELECTRONICS (SHANGHAI)

2011/10月

- ・ 上海地域のEMS事業会社(社名変更)  
⇒UKC EMS SOLUTION (SHANGHAI)
- ・ 中核事業会社のユーエスシーと共信テクノソニックを統合  
⇒UKCエレクトロニクス





株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to : [ir@ukcgroup.com](mailto:ir@ukcgroup.com)

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。